

平成 27年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、組織経済学、会計学、 地域公共政策コース
専門科目	会計学

以下の問 1、問 2 の両方に解答しなさい。なお、問 1 は解答用紙の第 1 ページと第 2 ページに解答し、問 2 は解答用紙の第 3 ページと第 4 ページに解答しなさい。

問 1 下記の問に答えなさい。

- (1) 貸借対照表の「純資産の部」はどのような項目から構成されているか、具体的な科目名を示して説明しなさい。また、「資本の部」ではなく、「純資産の部」とされている理由について説明しなさい。
- (2) 企業会計原則では、一般原則の一つとして下記の定めが設けられているが、その意義について説明しなさい。  
「資本取引と損益取引とを明瞭に区別し、特に資本剰余金と利益剰余金とを混同してはならない。」
- (3) キャッシュ・フロー計算書の作成の意義について、下記の点に言及して説明しなさい。  
①資金の範囲、②表示区分、③直接法及び間接法、④フリー・キャッシュ・フロー

問 2 下記の問に答えなさい。

- (1) わが国の「原価計算基準」における非原価項目について、具体例をあげながら説明しなさい。
- (2) 投資決定における経済性評価について、回収期間法と NPV 法（正味現在価値法）の特徴を説明しなさい。

以上